



## 本校の全国学力テストの結果から

文部科学省と県教育委員会は、8月28日に小学校6年生と中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。テストは、国語、算数・数学における基礎的な力を確かめるA問題と、知識の活用性を見るB問題で実施しています。

8月29日付けの各新聞からも分かるように、福島県においては、少しずつ全国との差が改善されているものの、国語・算数・数学の学年別8科目の内5科目で、正解者の割合を示す平均正答率が全国平均を下回ったという結果でした。依然として県内の多くの児童・生徒が算数・数学を苦手としている姿が浮き彫りとなっています。特に算数・数学における知識を活用する活用性や思考力の向上が課題となっています。

さて、本校はどうかというと、国語A・B、算数A・Bともに全国の平均正答率を上回っています。特に国語・算数の活用性を見るB問題の平均正答率が全国・県・市と比較しても高いことも特徴です。

本校での授業を分析すれば、国語では、普段の授業でグループ討論や発表といった言語活動を積極的に取り入れてきた結果だろうと考えます。算数では、算数は計算して一つの正解を出す教科ではなく、算数(数学)の言葉を使って、物事を論理的に説明する教科だという考え方に立って、日々子どもたちを指導してきた結果であると考えます。



学力のほかに、子どもたちには、勉強時間や学校生活への感じ方など90個以上の項目を聞く、**学習状況調査の結果**も報告されています。一部を紹介します。

- 学校の授業以外で平日に1時間以上学習している割合(本校81.8%、全国64.4%)
- テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている割合(本校56.1%、全国58.3%)・・・全国を下回っている
- 学校に行くのは楽しいと思っている割合(本校75.8%、全国55.4%)
- 国語の勉強が好きな割合(本校72.7%、全国60.5%)
- 算数の勉強が好きな割合(本校86.4%、全国65.9%)
- 読書が好きな子の割合(本校65.1%、全国74.3%)・・・全国を下回っている
- 学校のきまりを守っている割合(本校98.5%、全国92.6%)
- 自分にはよいところがあると思う割合(本校86.4%、全国77.9%)

本校の子どもは、「全国と比べて規範意識が高く、自己肯定感が高い子どもが多い。」ことも分かりました。

学力向上は、学校だけの取組みだけでは、なかなか効果が上がりません。国語に関しては、小学生にとって重要なのは、家庭の中でする会話量です。子どもが発話する量が多いほど、コミュニケーション力が高まり、国語力に直結します。まだ語彙(ごい)が乏しい子どもが一生懸命言葉をつむぐ中で、論理的思考力も育っていくとされています。

決して学力だけで人のよしあしが決められるわけではありません。しかし、人として望ましい生活を送ることで結果として学力もよく身に付くのです。学力を含めた「生きる力」を育てるために、お子さんの生活を見直してみたいかがですか。

**岩瀬地区合奏祭に55名参加！ ベストパフォーマンスを！**

9月29日（金）須賀川市文化センターで岩瀬地区小・中学校合奏祭が開催されます。4月から子ども達は「元禄」という曲に一生懸命取り組んできました。素晴らしい演奏をしてくれることを期待しています。保護者の皆様の温かい応援をお願いします。12時47分演奏予定。

**合奏祭に向けて 6年 大竹奏里**

私は合奏祭に向けて、2つのことに力を入れたい。一つ目は、部員みんなで心一つにして演奏することだ。今年の曲はせん細なところがたくさんある。だからこそ、部員みんなで心を合わせて演奏したい。二つ目は、後はいへの気づかいだ。今年は新入部員が多い。少しでもみんなをほぐして、悔いの残らない演奏をしてほしい。

みんなで「やりきった」と思えるような演奏をしたい。「精いっぱい演奏をする！」



**いわせ地区小学校陸上競技交流大会 6年生全員出場！**

10月3日（火）鏡石町鳥見山陸上競技場で、第3回いわせ地区陸上競技交流大会が行われます。体育の授業を始め放課後も一生懸命練習しています。9月21日（木）には、二小、阿武隈小、柏城小の3校の選手が鳥見山陸上競技場で合同練習を行いました。指導をしてくださったのが須二中の体育科の鈴木香奈先生と橋本和雄先生でした。走り方やリレーのバトンの受け渡し方など大変参考になりました。ありがとうございました。

**陸上交流大会に向けて 6年 大森竜也**

ぼくは今度の陸上交流大会でやりたいことが2つあります。一つは、高跳びで1m30cmをこえることです。優勝をめざして少しでも高く跳びたいと思います。もう一つは、リレーです。ぼくは、第一走者なのでよいスタートを切って、バトンを上手に速くわたしたいです。仲間との絆を深め、練習をがんばれば、きっと悔いのないレースができると思うのです。走れなかった人の分まで魂を込めて走ります。



二小の卒業生4名（須二中2年生 薄井駿君、小林幸太郎君、佐藤諒君、村田叶実さん）が21日（木）、職場体験に来ました。

**職場体験学習を通して 須二中 2年 薄井 駿**

僕は今回、4年1組で職場体験をさせていただきました。先生の仕事はとても忙しく宿題の丸つけや次の授業の準備でほとんど休む暇もありません。

しかし、その分少しやりがいがあり、子ども達と遊ぶことの楽しさを改めて感じる事ができました。今回の職場体験で学んだことを、これからの生活に生かし、将来の職業選びに役立てていきたいと思ひます。



**算数・数学ジュニアオリンピック25名参加！ ただ今奮闘中！**

福島県教育委員会は、小中学生の算数・数学の思考力の向上を目指して、年1回算数・数学ジュニアオリンピックを開催しています。大人でも簡単に解けない難問も多く出題されます。

昨年は小野健太郎君（6年）が見事銀メダルを獲得しました。

今年は、金メダル、銀メダル、銅メダルに加え学校賞も加わりました。25名（6年20名、5年5名）は、個人賞と学校賞を目指して毎日難問と格闘しています。久保校長が塾長です。

※右の問題は校長が作った問題です。このように2017年にちなんだ問題も出されます。子ども達は解けるようになりましたが皆さんはどうですか。制限時間は4分。

これは計算問題ですので、まだまだまだ序の口ですよ！

$$\begin{array}{r}
 \phantom{2017} \square\square\square\square \\
 2017 \left\{ \begin{array}{l}
 \square\square\square 1652 \\
 \square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square \\
 \square\square\square\square
 \end{array} \right. \\
 \hline
 \phantom{2017} \phantom{\square\square\square\square} \phantom{\square\square\square\square} \phantom{\square\square\square\square} \phantom{\square\square\square\square} \phantom{\square\square\square\square} \phantom{\square\square\square\square}
 \end{array}$$